

早来中スケート部 全国大会で大活躍 学校対抗 女子優勝 3連覇達成 男子4位入賞



左から高山菜摘(2年)、高山瑞穂(1年)、中村隼人(2年)、佐々木結衣(2年)、竹田遥菜(2年) ※敬称略 (2月13日早来中学校で行なわれた表彰式)

1月30日から2月2日まで長野市で開催された平成21年度全国中学校体育大会第30回全国中学スケート大会スピードスケート競技で大活躍をした早来中スケート部が、2月18日結果報告のため役場を訪れました。

町長は「男子の3連覇を引継いで、女子も3連覇を達成したことは、とても誇りに思います。町民にとっても素晴らしい贈り物をしてくれました」と偉業を祝福し拍手を贈りました。結果は次のとおり。

成績 学校対抗 女子優勝・男子4位、個人(女子) 50歳11位 佐々木結衣・16位 竹田遥菜、1000歳2位 高山菜摘・18位 佐々木結衣、1500歳1位 高山瑞穂・4位 高山菜摘、3000歳1位 高山瑞穂・20位 竹田遥菜、(男子) 1500歳・3000歳1位 中村隼人



全国大会を振り返って

感想や今後の抱負などを次のように話してくれました。

中村隼人君(2年)「2冠を達成することができて嬉しい。プレッシャーはあったけど自分の滑りができた」

高山瑞穂さん(1年)「初めての全国大会で緊張もしたけど、良い結果を残せて良かった」

高山菜摘さん(2年)「今回の結果に満足せず、来年も頑張ります」

佐々木結衣さん(2年)「来年は入賞できるように頑張りたい」

竹田遥菜さん(2年)「来年は悔いのない滑りをしたい」

早来中スケート部監督の平沖教頭「来年も同じメンバーで大会に臨むことができるので、女子は史上初の4連覇に向けて頑張ってください」

~国際大会への出場決定~

全国中学校スケート大会で2冠を達成した中村隼人君(早来中2年)と全国高校総体、国体で活躍した高山梨沙さん(早来中卒業)がオリンピックオーバルファイナル(カナダ・カルガリー3月16日~21日開催)への出場が決定しました。

また、国体で活躍した中村駿佑君と奨太君は(ともに早来中卒業)は、2月12日から14日まで帯広市で開催された第33回全日本ジュニア選手権大会において、スピード部門・総合部門を兄弟で制し、スピードスケートジュニアワールドカップファイナル(ドイツ・ベルリン開催3月5日~6日)及び世界ジュニアスピードスケート選手権大会(ロシア・モスクワ開催3月12日~14日)への代表に選出されました。

選手たちの今後の活躍に期待が膨らみます。

国体で大活躍



左から高山梨沙、中村駿佑、竹田勇祐、中村奨太 ※敬称略

1月28日から31日まで釧路市で開催された第65回国民体育大会冬季大会スケート競技会では、安平町からは5名が出場しスピードスケートにおいて活躍、男女ともに北海道の優勝に大きく貢献しました。

出場者と成績

小林正暢さん(成年男子) 50歳2位、中村駿佑君(少年男子) 500歳3位・200mリレー優勝、中村奨太君(同) 5000歳・1000歳優勝、竹田勇祐君(同) 1000歳5位、高山梨沙さん(少年女子) 3000歳優勝